

東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会
担当大臣 遠藤利明様

2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会サーフィン競技の
いすみ市、一宮町での開催の要望について

寒冷の候、貴職におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

これまで、2020年東京五輪・パラリンピック競技大会の成功に向け、甚大なるご尽力を重ねておられますことに、心からの敬意を表します。

さて、昨年9月28日、東京オリンピックの追加・競技候補種目としてサーフィン競技が選ばれました。

いすみ市太東海岸は、「日本で最初のサーフィン発祥の地」と言われており、その太東海岸に隣接している一宮町釣ヶ崎海岸は、日本で最もコンスタントに波があり、その波も「世界レベルの波」と言われ、都心からの交通アクセスが良いこともあり、隣接している両海岸には、年間80万人を超えるサーフィン愛好者が来訪し、世界大会も含めて数多くの大会が開催されています。

こうした恵まれた環境のなかから、サーフィン全米オープンチャンピオンになった大原洋人選手（一宮町出身）のような五輪のメダルを期待できる若者も多数輩出しています。

このような現状の中で、いすみ市と一宮町では、世界初の大会開催地としようという機運が大いに盛り上がっております。

何卒、私共の意向をご理解頂くと共に、サーフィン競技会場を、いすみ市太東海岸と一宮町釣ヶ崎海岸に選定して頂けるよう特段のご配慮をお願い申し上げます。

平成28年2月10日

いすみ市長 太田 洋



一宮町長 玉川 孫一郎

